

水道事業の 決算状況

炊事、洗濯、入浴など
わたしたちの生活に水は欠かせません。
市は、市民のみなさんへ安全で良質
な水道水を安定的に供給するため、
水道施設の整備を計画的に
推進しています。
今号では、平成12年度水道事業会計の
決算状況をお知らせします。

来馬川(幌別浄水場上流)

一人1日平均240リットルの
水を使っています
給水の状況

私たちは、水をどれくらい使って

収入合計の4億9千640万円に対し
て、支出合計が7億1千603万円とな
り、2億1千963万円の財源不足とな
りました。
この不足額については、減価償却
費などの損益勘定留保資金や建設改
良積立金の取り崩しなどで補てんし
ました。

●資本的収支
収入合計の4億9千640万円に対し
て、支出合計が7億1千603万円とな
り、2億1千963万円の財源不足とな
りました。

この赤字額については、『当年度
未処理欠損金』として翌年度へ繰り
越し、平成13年度以降に見込まれる
黒字(純利益)で相殺する予定です。

●収益的収支
収入合計の8億5千816万円に対し
て、支出合計が9億647万円となり、
収支決算は4千831万円の赤字(純損
失)となりました。

一般的に、一事業年度の営業成績
を示す『損益(黒字または赤字)』
は収益的収支で表されます。

水道事業会計は、施設の維持管理
など日常の営業活動に伴う収支を示
す『収益的収支』と、施設の建設や
改良など投資に伴う収支を示す『資
本的収支』の2つに分かれています。
(7ページ・表1)

平成12年度の決算
収入と支出の状況

表2 平成12年度の用途別給水戸数と給水量(カッコ内は平成2年度)

用 途 別	給水戸数	年間給水量 (立方メートル)	1日1戸あたり 平均給水量(リットル)
家事用(一般家庭用)	19,877 (17,534)	3,574,618 (3,135,841)	493 (490)
家事用以外(業務・公共用)	1,310 (1,247)	1,142,978 (1,155,945)	2,390 (2,540)
公衆浴場用(銭湯用)	3 (5)	47,432 (60,351)	43,317 (33,069)
臨時用(工事用)	40 (-)	9,926 (3,839)	680 (-)
合 計	21,230 (18,786)	4,774,954 (4,355,976)	616 (635)



▲水は大切に使いましょう

いるのでしょうか。(表2)
水を使う家庭の数、すなわち給水
戸数は毎年増え続けています。平成
12年度末で約2万1千戸と、10年前
に比べ約2千戸以上増加しました。
また、市民全体の水の使用量、つ
まり年間給水量は、47万4千954立
方メートルです。これも10年前に比べ約40万